

炎症性腸炎とリンパ管拡張症の手術 後のステロイドからの離脱

日本ホメオパシーセンター滋賀草津
今村 香

JPHMA認定ホメオパス 0775

ZENメソッド習得認定 0087

JPHMA認定アニマルホメオパス A0109

JPHMAインナーチャイルドセラピスト 0497

獣医師・いまむら動物病院

クライアント

- 犬種:トイプードル
- 年齢:11歳
- 性別:オス
- 体重:3.2Kg



主訴：減薬したい

炎症性腸炎とリンパ管拡張症

がんの疑いから腸切除

ステロイドを飲んでいる

減薬すると嘔吐、食欲不振、元気がなくなる

タイムライン



- 若いころ、皮膚のかゆみがあった
- 8歳ごろからお腹が鳴る。
祈りの姿勢をとり、食事をとらない
- 10歳ごろ、月に一回はお腹が鳴るようになり、
お薬を飲んでいた
- 2023年4月 がんの疑いで開腹手術、腸切除。術後3日に吻合不全のため再手術

1回目(2023年4月)

Podo/ポドファイラム 30c

Carb-v/カーボベジ 30c

・ファタックのマテリアメディカより Podo

: 腹部がグーグー鳴る、疝痛、嘔吐、下痢

Carb-v: 手術後の体調不良、腹部の疾患

経過

- 改善点

2週間後、ステロイドを3日に1回まで減量できた。
嘔吐した後もぐったりしなくなった。

1か月後には、ステロイドを4～5日に1回まで減量。嘔吐物のpHが2になり、正常化してきた。

ボーニングハウゼンのレパートリーから

1 : 984# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - つかまれる(握られる、握り締める一痛痛のように)ような痛み :

2 : 986# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - つかまれる(握られる、握り締める一痛痛のように)ような痛み : - はさまれるような痛み - 内側部分 :

3 : 408# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 8. 鼓腸 - 鼓腸 - 有痛性の(鼓腸性疼痛) :

4 : 392# 2. 系統 - 1. 栄養(消化) - 7. 吐き気および嘔吐 - 嘔吐 - 全般 :

5 : 795# 3. 全般 - 1. 精神 (および気質) - 1. 精神 - 不信(疑念、自信喪失、臆病) :

順位	レメディ	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Puls.	5	18	3	3	4	4	4				
2	Lyc.	5	16	3	4	4	2	3				
3	Calc.	5	13	4	4	1	3	1				
4	Bell.	5	13	3	3	1	3	3				
5	Phos.	5	12	2	3	3	3	1				
6	Hyos.	5	11	1	1	3	3	3				
7	Cham.	5	11	1	2	3	4	1				

2回目以降

- Lyc/ライコポディウム 30c
- 頓服 Carb-v/カーボベジ 30c
 - Nux-v/ナックスボミカ 30c

治療結果と改善点

- 改善点

かかりつけの病院の指導のもと、時間はかかりましたがステロイドから離脱が出来た。

時折、腹鳴がありますが、レメディを上手く使ったりして、短時間で回復することが出来た。

まとめ

- 慢性炎症性腸炎との特徴：慢性的な下痢と嘔吐、食欲不振、痩せる
- リンパ管拡張症の特徴：下痢嘔吐、むくみや腹水
- 本症例の特異性：嘔吐のみ、腹痛
- Lyc：腹部の痛み、嘔吐、怖がり、敏感、臆病

ホメオパシーセンター滋賀草津 (オンライン/対面：動物/人)

ご予約お問い合わせは

公式LINE



電話：080-1450-8319

SNS インスタグラム

メルマガ：動物さんにも自然療法を！

